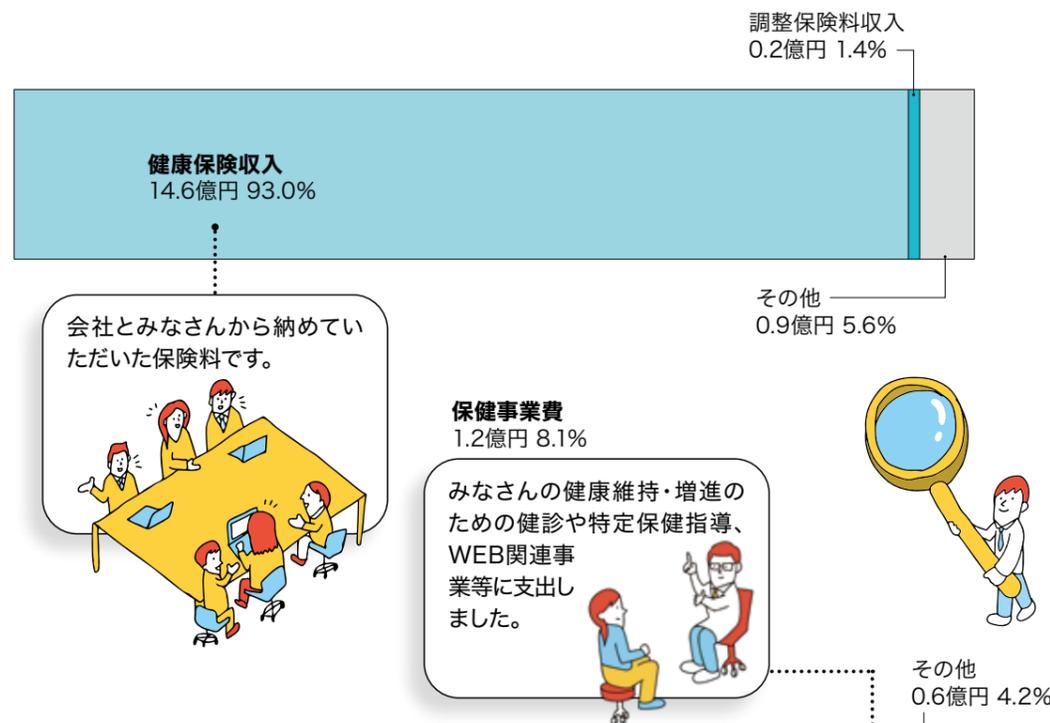


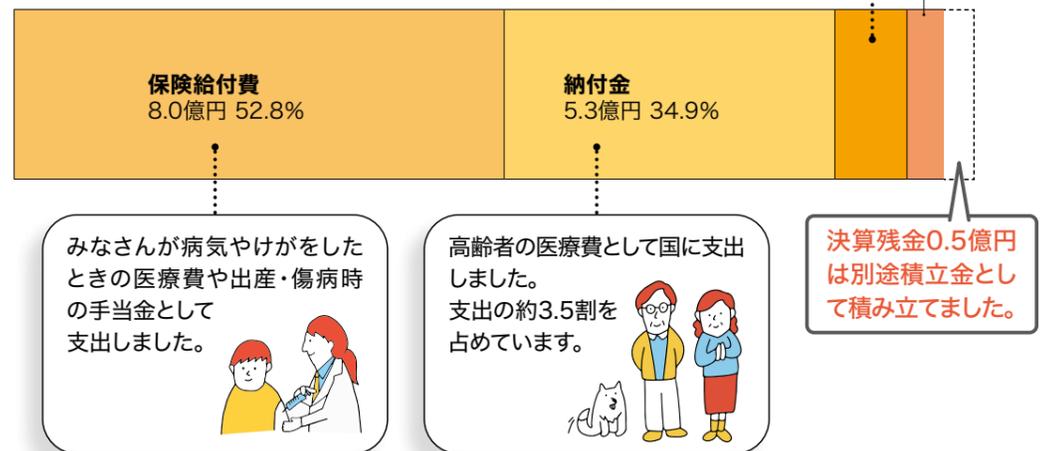
- 2023年5月に新型コロナが5類感染症となり、健康保険組合を取り巻く状況もコロナ禍以前の状態に戻り、保険給付費も急増しました。
- 健保設立年度(2021年度)から対応に苦慮してきた納付金の額もようやく落ち着き、設立以来初めて黒字決算を迎えることができました。

一般勘定

収入



支出



介護勘定

収入支出決算額

収入合計	2億4,349万円
支出合計	2億 256万円
収入支出差引額	4,093万円

国に納める介護納付金は前年度に比較して少なかったこともあり、2023年度は準備金からの繰入をせずに済みました。

収入



支出



決算残金4,095万円は準備金として積み立てました。

収入

科目	2023年度 決算額(千円)	被保険者 1人当たり額(円)
健康保険収入	1,460,319	561,877
調整保険料収入	22,420	8,626
繰入金	20,000	7,695
国庫補助金収入	729	280
財政調整事業交付金	7,745	2,980
雑収入・その他	58,877	22,654
収入合計	1,570,090	604,113

支出

科目	2023年度 決算額(千円)	被保険者 1人当たり額(円)
事務費	40,506	15,585
保険給付費	802,881	308,919
法定給付費	784,752	301,944
付加給付費	18,129	6,975
納付金	529,805	203,850
前期高齢者納付金	160,306	61,680
後期高齢者支援金	369,492	142,167
その他	7	3
保健事業費	122,941	47,303
財政調整事業拠出金	22,183	8,535
その他	1,054	406
支出合計	1,519,370	584,598

収支差引額
50,720千円

2023年度決算概要

収入については、被保険者数及び標準賞与額が当初見込より減となった影響で、保険料収入が予算比で13百万円の減となり、収入全体でも13百万円の減となりました。支出については、保険給付費の予算比18百万円の減などにより、支出全体では14百万円の減となりました。差引収支は51百万円です。なお、支出を賄うために別途積立金より20百万円を繰入れておりますが、経常収支は17百万円で設立以来初の黒字となりました。

保健事業等の実施状況

健診受診率は被保険者で88%、被扶養者で40%でした。被扶養者の受診率の向上に向けた取り組みを継続していきます。特定保健指導の対象者の参加率は42%でした。当健保では毎年医療費分析を実施しておりますが、加入者の平均年齢が高いという当健保の特徴を踏まえ、健康リスク者をいかに減らしていくかが課題となっています。特定保健指導、さらには2023年度からスタートした重症化予防事業などを通じてしっかり取り組んでいく予定です。

併せて2024年12月からは保険証の新規発行が廃止されるため、マイナ保険証への移行がスムーズに進むよう、資格確認システム等の整備も実施しました。みなさまにおかれましても、早めにマイナンバーカードの保険証利用登録手続きをお願いいたします。